



**初夏の自然を楽しむ
上高地ウォーキング**

6月4日台風6号の影響が残る中、上高地ウォーキングが今井公民館と福祉ひろばで開催されました。ガイドさんの説明を受けながら、2班に分かれて、大正池から田代橋、穂高橋を通り、ウェストン碑の横を通って河童橋まで、約4キロを33名が楽しくおしゃべりしながら散策しました。上高地



No.384

今井公民館
館報編集委員会
電話 59-2001
FAX 59-1004



食堂で豪華なお弁当をいただきました。

参加者に感想をお聞きしました。

Aさん：上高地は山登りが好きなので、以前は何度も行っていました。80歳を超え無理かと思っていました。バスで大正池まで連れて行ってもらえたので良かったです。大正池は、砂の流入で小さくなっていました。これからの機会があったら参加したいです。



Bさん：以前に明神池までの散策に参加しましたが、健脚向けのコースで大変疲れました。この企画では、時間がたっぷりあり、歩く速さが私にあっている、久しぶりにおしゃべりを楽しみながら歩くことができました。他町会の方とも顔見知りになり、バスでおしゃべりを楽しみました。

第38回今井地区 支部対抗球技大会

7/5 (日)

●ソフトボール (36歳以上)

優勝 南耕地 進優勝 境新田

●ソフトボール (年齢制限なし)

優勝 南耕地 進優勝 公園西

●女子バレーボール

優勝 境新田 進優勝 下新田

●4人制ソフトバレー

優勝 北耕地



北風南風

「にげろー」父の声に飛び出した直後、家は濁流にのみ込まれたという▼昭和36年6月下旬に飯田、下伊那地方を襲った集中豪雨。27日には325ミ

リの雨量で、甚大な被害があった。この災害は「三八災害」として地域の歴史に刻まれている▼当時5歳の私の記憶に残っているもの、叩きつける雨音、黒い水。奇跡的に家族は全員無事だった。しばらく、親族宅に間借りして、新築した家で両親は元の商売を始めた▼まるで何事もなかったように、私は大きくなり、故郷を離れて自立した▼祖母は御殿のついた段飾りのお雛様が流され飾れなくなったことがよほど寂しかったのだろっか、ひな祭りが近づくと「家族の身代わりになうてくれたお雛様」の話をよくした▼あの日、父の「にげろー」で家族が逃げ出さなかったら、私はどうなっていたらうと考えることがある。幼子が残されても、幸せで心穏やかな日常を過ごせたのだろうか▼当時、両親は家と商売のすべてを失って、絶望の中にはあったけれど、親族や地域の人から物心両面で助けられたと話していた。周りの人たちの温かい励ましを死ぬまで感謝していた▼自然災害の多い日本で命を守るには「逃げる」ことが番(SR)

今井地区ふれあい遊び 「りんご」

未就学児と保護者対象に、毎月一回、児童センターや福祉ひろば、保育園を会場にして開催しています。一回目は「つばき文庫」のパネルシアター、二回目は昨年度からお世話になっている小布施先生の親子体操でした。

すでに三回目。七月七日は七夕祭りでした。福祉ひろばで地区民生・児童委員の皆さんや保健師さん、食改の皆さん、園長先生、児童センターの先生方の支援を受けて、七夕まんじゅうを作りました。子ども用のおやつはマカロニきなが用意されていました。保育園のおやつで人気メニューだそうです。



七夕まんじゅうは松本地域で小麦の収穫に合わせて食べられるようになったそうです。材料やまんじゅうの生地はすべて用意されており、生地を広げて餡を包むだけでしたが、生地が

感触を楽しんでいる子どもが多かったです。

手遊びや絵本の読み聞かせあり、笹飾りもあり、内容が豊富で、目を輝かせている子どもたちの様子が見られました。



来月は、保育園参観が計画されており、水遊びなど親子でいろいろな体験ができるように計画されています。次回は今井保育園も楽しみです。是非参加してください。



No.303

「新しいふるさと」

江連 正文
(中沢)

2019年春、妻と当時2歳の双子を引き連れ、東京が

りんごちゃんグッズと「一緒に 松本ほんぽんへ参加

8月1日(土)開催の第52回松本ほんぽんへ参加する『Noweee imai』

連は、2019年に今井小学校のママ友が声を掛け合い結成しました。昨年に引き続き計4回目の参加となる今年は、今井のイメージキャラクターのPRも兼ねて、より多くの住民と踊りを楽しむため、メンバーを募集しました。今回から、今井のりんごちゃんグッズや新調した衣装(りんごちゃん法被)を着用して踊ります。

文化系委員会合同視察

3月2日に文化財委員会と館報編集委員会の合同視察研修で「塩田平探訪」が行われました。

5月30日(土)は新メンバーが初練習でした。初めて参加した方は「参加するからには正しい踊りをマスターして全力で楽しみたい」経験者の方からは「踊りを通じて一体感を味わえるのが醍醐味。本気で賞を目指したい」との声が聞かれました。



ら今井に越えてきて、早8年目。いわゆるIターン新規就農者(りんごとおぶどう)です。よそ者であるにもかかわらず、今井のみなさまには大変あたたく迎えていただき、農地も貸していただき、感謝感激の日々を過ごしている今日この頃です。この今井のおおらかさ、懐の深さは、将来にわたって市内でも有数の生産力を誇る農業地帯であり続ける素地であると感じています。

さて、我が家の子どもたちは、将来、農家になることを夢と言ってくれています。無

論、心変わりはあると思いますが、子どもたちに胸を張って経営を委譲することができるよう、農園の経営を確立、安定させることが私の使命かなと思います。ちなみに妻のほうが働き者だというウワサもありますが、私もまあまあ頑張っています。

あらためまして、今井のみなさま、いつもありがとうございます。私は人間味あふれる今井の人々、暮らしが好きです。家族ともども、今後ともよろしくお願いします！



最初に見学したのは、「生島足島神社」です。生島大神は万物を生み育て、生命力を与える神。足島大神は国中を満たたらしめる神と言われています。この神社は床が土間、大地がご神体とされており、朝廷とのつながりが深いとのこと。境内には歌舞伎舞台があり、江戸期農村歌舞伎の舞台で最大級のものと言われているので、「信州の鎌倉」と言われるほど文化活動も盛んなところでもありました。

三重塔を見比べることができて楽しかったです。安楽寺八角三重塔は13世紀末に建築されたもので、その美しい姿に目を奪われました。前山寺の三重塔は「未完の塔」といわれているけれど、とても未完とは思えないほどでした。青木村の大法寺は「見返りの塔」と言われ、帰るときに振り返ってもう一度みたいと思うほど美しい塔でした。

古代から豊かな塩田平、三重塔を建立し、守ってきた長い歴史のある地域の力を感じてきました。